

2022 年度
学校評価（関係者評価）

目標：子どもが集団の中で、遊びを楽しみ、育ち合う。

計画：●幼稚園生活では、子ども達一人ひとりの“個”の存在を大切にしながら、物事に向き合う力や集団の中の一人としての意識を育てる。

●生活する基礎を培い、生きる力を養う。

●今ある環境を活かし、親育てをしながら、子どもの心を育む。

評価者（グレース評議員）：A 梅崎、B 真田、C 古川、D 高井、E 小川、F 肌勢、G 國末、H 浦川、I 吉岡、J 坂本、K 國本、L 岸本、M 福井

評価項目		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
心身の健康な成長 (あそび)	体を十分に動かしてあそびを楽しむことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	好きな遊びを見つけて存分に楽しむことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※園の職員全員で子どもを育てている。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	様々な活動に挑戦する中で、友達と刺激し合い達成感を味わうことができる。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	他学年との交流をもち、育ちに生かしている。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	自分に自信を持ち、友達を認めることができる。	-	○	○	○	△	○	○	○	○	○	-	-	○
	思いを言葉で伝え合い、豊かな表現力を身に付けることができる。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	遊びを通して相手の気持ちに気づき折り合いをつけることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	戸外での遊びを通してバランスの良いからだづくりができています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	子ども達自ら遊びを工夫し、ルールや役割のある遊びを作り出す。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
※遊びの時間を十分にとっている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
教育環境 (自然)	園内の自然（樹木、果実、花、動物、虫、畑の野菜）を通して季節を感じるができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	いきものに接することで“命の大切さ”を知ることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	畑の野菜を育てることで生長、収穫、食べ物のありがたみを知ることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※夏期等、あずかりの体制が整えられている。	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	△
	木の実や落ち葉などの自然物を使って遊ぶことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	実際の自然に触れ、五感を使って感じてみる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※教師自身が園庭の木々や草花を知り、子どもの興味関心の動機づけができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	起伏のある広大な敷地で遊ぶことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
植物や動物を育て、その成長に興味関心をもつ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
保健衛生 (食育)	季節の伝統料理を頂く。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	食に対する意欲をもち、マナーを身につける。	-	○	○	○	△	○	○	○	○	○	-	-	○
	旬の食材や自園で採れた野菜を味わえる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※アレルギー対応ができています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※専任の保健師がおり、怪我の対応（簡易処置）を適切に行える。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※健康に過ごすための季節ごとの注意点を看護師や教師から伝える。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
※栄養士が適時、昼食だよりを発行し、食育への意識を高める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	

	評価項目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
保護者と の連携	※家庭訪問を行い、子どもが育つ環境を理解している。	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-	-	△	
	※子育て相談、カウンセリングなど、保護者を支える体制が整えられている。	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	
	※ホームページで日々の子どもの姿を知ってもらう。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※保護者に、より保育のねらいなどを理解してもらう機会（参観や講座、懇談、グレース会、行事など）をもつ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※クラスや個人の様子などを、電話やお便りで保護者に丁寧に伝えられるよう努めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※活動の過程を見ってもらう機会をもつ。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
就学準備	グループ活動、リーダー活動を通して責任をもって行動することに気づく。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※文字、数字に興味をもつために、生活の中に工夫して取り入れていく。	-	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	-	-	○
	一つの目標にみんなで取り組み、達成感、満足感を味わう。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※一人ひとりの違いを認め共に育つようすすめていく。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	基本的生活習慣を身に付ける。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	規範意識を身に付ける。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
その他	※卒園生も園へ来ることのできる機会を与え、その後のつながりをもっていく。	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	-	-	○	
	※職員としての品位を保つよう心がけている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※個々の教師としての向上心、同僚との意識の高め合いが感じられる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※地域との関わりをもち、地域とも連携し、子育てを行っていく。	○	○	○	△	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○

<今後の課題・コメント>

- ・新卒など若手の先生方への指導や働き方など、人材不足の問題が心配。親からの相談に時間をかけ丁寧にご対応されているところは変わらず手厚いサポートで素晴らしいと感じた。
- ・卒園生を持つ親からの意見で、グレースに通わせて良かった。卒園生からもグレースでの思い出や良かったと実感しているという意見を聞いたことは、在園の親御さんにとっても安心材料になると思うので、アピールすべきだと思う。また防犯対策にも力を入れているところ自然を活かした情操教育もコロナ禍でコミュニケーション不足だった社会の中において力を入れていると思うので、ぜひアピールして欲しい。バザー楽しみにしています。
- ・コロナ禍という難しい時代の中でも臨機応変に対応され園児に可能な限りの楽しめる環境づくりに力を尽くされていると思います。
- ・この数年、コロナで失われた子ども本来の姿に、子ども自身が気にせずにごせる工夫をすること。（マスクが外せない、消毒ばかりしてしまう、友達との距離感）
- ・委員決めが年々難航していることを耳にする。お仕事をされている方も増え、こども園になったことで以前と比べて違う状況なのはわかるが、もっと積極的になって引き受けてもらえるよう、委員経験済み、できない理由がある人は自己申告する、一覧を作成し委員決めの際に配付するなど、皆が平等に情報を得て決めるのも良いかなと思います。
- ・バザーも今年は今までの形に戻ると伺いました。
- ・コロナが5類へ移行し、感染対策が緩和されたことによって、コロナ前と同様の活動が少しずつ戻ってきたことをとても嬉しく思いました。そして何より子どもたちがマスクを外して過ごすことによって、お互いの表情を見ることができるようになったことは、子ども達の成長に大変喜ばしいことだと思います。まだまだ油断禁物ですが、子ども達はもちろん、保護者の皆様も笑顔いっぱいの充実した園生活を送っていただければ幸いです。
- ・コロナへの対応の変化があった1年でしたが、先生方が臨機応変に対応してくださったことで、子どもたちがのびのびと過ごすことができたと思います。
- ・先生方のチームワークも更に強化されて、これからもグレース幼稚園らしい保育を行えることを期待しています。
- ・息子は幼稚園からのバザーのお誘いのハガキに大喜びでした。卒園しても“幼稚園は楽しいところ”“先生たちは大好きな存在”として記憶されているのだなと感じました。伝統を大切にしつつも、柔軟に対応をしていかれ素晴らしいと思います。入園式4回、卒園式4回など、一人ひとりを大切にする姿勢はさすがです。
- ・コロナによる制限が緩和され、この数年行えなかったことができるようになったこと、ここに至るまでの先生方の努力は計り知れないと感じました。
- ・日曜参観が園庭で行われたこと、万博記念公園運動場まで行くことが大変という声を聞いていたので、安心しました。いろいろな意見があると思いますが、子ども達にとって良い方向へ向かうこと、そして、これからも千里山グレース幼稚園のますますの発展を祈っております。
- ・長かったコロナ禍の終わりがようやく見え始め、悪い意味でコロナとの共存生活に慣れてしまっていた部分もあり、以前では気にならなかった事（人との関わり方や距離感など）に敏感になりすぎて、コロナが始まる前の教育現場へ戻るのはなかなか大変かと思います。ですが、そのような中でも今年はバザーを卒園生を含めて大きく開催して下さると聞き大変うれしく思います。子ども会やお兄さん・お姉さん先生など他の年齢の子ども達との交流をこれからも続けていきたいです。
- ・コロナで大変な数年間でしたが、先生方が臨機応変に対応されたおかげで様々な活動が復活されていること、大変嬉しく思います。今でも子どもが通園していた頃を思い出すと親子共に楽しく幸せいっぱいの環境であったと温かい気持ちになり、それも嬉しく幸せなことだと感じております。